

ほっかい新報

2007年 週刊 月3回発行

3月4日 (第1695号)

発行所
ほっかい新報社
060-0806 札幌市北区北6条西7丁目
電話 011(726)4858
北洋銀行(普)0576770
Eメール:hokkaiinfo@hotmail.co.jp

定価	1部80円
月ぎめ	230円(〒120円)
年ぎめ	2,760円(〒1,440円)

夕張再生をめぐる道民集会

住み続けられるまちをどうつくるか

2月19日夜、札幌市内で、夕張再生めざす道民集会が120名の参加で開かれました。財政再建のためとして、「全国最低のサービス、最高の負担」が求められている夕張で、どうしたら住み続けられるまちをつくれるのか。集会で、松山友彦・夕張市立総合病院副院長の発言、河合博司・酪農学園大学教授のまとめ、保母武彦・鳥根大学名誉教授の問題提起の要旨を紹介しします。



(07. 2. 19 札幌市)

されました。救急医療のこと。そこでは、病院の規模を縮小することで救急はできないが残す、透析も残す、しかし職員は、昔十人以上のドクターがおられた時代に、市内の救急車は全部市立病院に引き受けてくれた。夕張市民の方ですが、急に急病で透析を条件に公募するつもりであったが、村上先生が四月からは確保できているが、自分一人、それではできませんという回答でしたので、急遽十二月末になって患者さんやまわりの病院に連絡をこしあげて、転院していただけたかどうか、やっています。

私は、批判される側です。救急を全部受けられない。九床の診療所で、四月以降はドクターは村上先生二人に任せたいと思いません。私から最初から発言していい。それが張りつき、付いていかなければいけない場合もあります。バックアップに残っていないければいけないわけですから、市内の救急を全部受けられない。十床の診療所で、四月以降はドクターは村上先生二人に任せたいと思いません。

夕張市立総合病院副院長 松山友彦



六月に再建団体の会議で中間案で「民間化」の方向で病院の再建案が出たという方向で動き

夕張市立総合病院副院長 松山友彦
救急医療透析の存続こそ市民の願いに
財政再建ありきでなく、十分な議論と準備こそ

がはじまり、八月にコンサルタン트를雇って再建計画を出した。十日前の議論がはじまりのまじり、このように

一まとめの発言から

夕張問題は夕張固有の問題であると同時に、全国の自治体がかかえている問題とまさに一体の話です。

一時借入れの問題は、西村先生たちの調査の中で、一九七八年から七九年の時に一度ありました。その次



夕張問題は夕張固有の問題であると同時に、全国の自治体がかかえている問題とまさに一体の話です。

一時借入れの問題は、西村先生たちの調査の中で、一九七八年から七九年の時に一度ありました。その次

夕張の歴史遺産と資源をいかに活用していくか

酪農学園大学教授 河合 博司

夕張問題は夕張固有の問題であると同時に、全国の自治体がかかえている問題とまさに一体の話です。

一時借入れの問題は、西村先生たちの調査の中で、一九七八年から七九年の時に一度ありました。その次



夕張再生への提言

鳥根大学名誉教授 保母 武彦

夕張問題は夕張固有の問題であると同時に、全国の自治体がかかえている問題とまさに一体の話です。

一時借入れの問題は、西村先生たちの調査の中で、一九七八年から七九年の時に一度ありました。その次

夕張問題は夕張固有の問題であると同時に、全国の自治体がかかえている問題とまさに一体の話です。

一時借入れの問題は、西村先生たちの調査の中で、一九七八年から七九年の時に一度ありました。その次

焦点

わが家にも三男の大学合格通知書がおくられてきた。おもうは昨年

わが家にも三男の大学合格通知書がおくられてきた。おもうは昨年

説明し、さらには相談をしていくということがある。説明し、さらには相談をしていくということがある。

